



ゴールドマン・サックス証券株式会社社長。トーマス・モンタグ社長と共同社長を務めている。

ゴールドマン・サックスなのである。例えば、年に20人程度しか新卒採用を行わないとされるGSのほとんどは東大生で占められているという。

東京大学の副理事としてキヤリアサポート室々長を兼務する竹原敬三氏がこう話す。

「全体の数から言えば、外資系希望というのは決して多くはない。だが小さな時から受験競争を勝ち抜いてきた東大生の中には、『最も入るのが難関な企業で自己実現したい』『そこが最も厳しいから目指す』という人は確かにいる。そんな自分に自信がある人にとって、ゴールドマンという名前はトップオブ

トップという意味で必ず入りた企業として名前が上がるうちの1つ」

東大生が仕事ができるのはわからないが、少なくとも日本の最も優秀な頭脳によって『最も狭き門』と認められる1社、ゴールドマン・サックスは、今やそんなふうイメージされているのだ。

## 華麗？ 過酷？ 猛烈に働くGSマン

朝7時、2年目の松本隆さん(仮名)は熱いシャワーを浴びて、六本木ヒルズの専用エントランスをくぐった。8時すぎだった。トレーディング部門はすでに活気があがるが、所属するのは、マーチャント・バンキング部門。自分が1番だ。やることは山ほどあ

### ゴールドマン・サックスの日本での歩み

1974年	東京駐在員事務所開設
1983年	東京支店に昇格
1986年	東京証券取引所加入
1990年	大阪証券取引所加入
1996年	JT政府保有株の第二次売却の共同主幹事(外資初)獲得 年金福祉事業団から運用委託
1998年	NTTDコム株式会社公開で主幹事獲得
1999年	長銀のリップルウッド売却で政府のアドバイザー (米国本社がNY証券取引所に上場)
2000年	みずほフィナンシャルグループ誕生時のアドバイザー 三菱自動車のタイムラークライスラ-出資のアドバイザー KDD・DDI統合のDDIアドバイザー
2001年	スイスロシュ、中外製薬の資本提携で、ロシュ側アドバイザー
2002年	JR完全民営化株式売り出し
2003年	三井住友FGへ1503億円出資 リップルウッドの日本テレコム買収でリップルウッド側アドバイザー
2004年	ソフトバンク日本テレコム買収のソフトバンク側アドバイザー 三井住友FGのプロミスへの資本参加で三井住友側アドバイザー 武富士買収失敗 JFJホールディングと三井住友FGとの統合
2005年	星野リゾートと手を組んで石川県加賀市の温泉旅館・白銀屋の再生に着手 楽天・TBS統合で楽天側アドバイザー 大手ゼネコンフジタへ出資 UFJ(ユニバーサル・スタジオ・ジャパン)の筆頭株主に

※これまでの報道などから編集部作成

る。昨晩の帰宅は深夜3時過ぎ。デスクで、ボイスメールのチェック。将来肩書きがマネージング・ディレクター(MD)になれば、一時間100通は当たり前前、まだ若い松本さんでも数十本をチェックする。

8時過ぎ、本日の作業を再確認。作成資料が3本に、関係会社も含めた会議が4本。複数の案件が常にパラレルで動いている。余力があれば、3日後からの現場入りで前倒しになる2件の調査もこなす予定だ。

急ぎの案件が持ち込まれたため、結局12時半まで予定がずれ込む。だが日本企業と異なり、ランチは遅め。午後の会議に使うための資料確認のためランチ抜きということも多い。朝一からのせわしさもおさ

まる13時から1時間半は、少しリラックスできる時間だ。この日は、NY投資委員会に提出するための稟議書(もちろん英文)の作成に充てた。

「稟議書は上司がまとめるのですが、僕が部分的に提出する部分を…」

15時、16時とたて続けに会議。関係者が一堂に会した、再生シナリオの検証。その後も別の会議。10人規模の会合だけに長引き、結局19時まで。

残務処理し、翌日の作業確認と準備をおえて退社したのは23時半過ぎ。タクシー代は会社持ちなので、ヒルズからタクシーを用いる。これでも早いほうだと松本さんは語る。

「全体のプロジェクトにおける自分の役割は小さいですが、その積み重ねで全体が構成されるわけで、自分の判断が間違っていれば全体が狂ってしまう。責

任をひしひしと感じるから、時間が足りないとは思って、ハードだと感じることはありません。というより各段階での決定までのスピードが速いせいか、毎日があつという間。疲れたと感じるヒマがありません」

自宅が23区外にあるため、タクシー代が月々の月収を超え、こともしばしば。満足感は今このころ高い。

こうした例はほんの一例だが、多少の違いはあれど、早朝から深夜、時には徹夜と皆激烈に働いている。しかも海外だろうが、容赦なく問い合わせの連絡が入るからまさに休む暇なしという人も多い。

プレッシャーもきついですが、それを補って余りある報酬というのも確かだ。現在の年収を聞くと「それは言えません。報酬額は半ば交渉で決められるから、まったく同じ条件で働いても内容